

## 園芸科学科

# 古い町並みにあさがお苗贈呈 観光客を花でおもてなし



「古い町並をアサガオで彩って」高・園芸科学科の生徒が5月に  
市民憲章推進協が保存会に配布種をまいて育てた「ヘブンリーブルー」という品種。鮮やかな空色の花を咲かせ、開花時間が長いのも特長という。

伝建地区や景観保存区域の町並みを花で飾ってもらおうと、市民憲章推進協議会(中村健史会長)が15日、12の町並・景観保存会にアサガオの苗を計822株贈った。

これは同協議会の「花いっぱい運動事業」の一環で、平成5年から続けているもの。

アサガオは、飛騨高山贈呈式では、生徒が「古い町並は茶色が多いので、アサガオの青が映えると思います」などといさつし、同協議会の関係者とともに上三之町町並保存会へ鉢を手渡していた(上写真)。花は7月に咲き始めるという。